

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
1	女性団体じょうそう 事業委員会	女性団体じょうそう 事業委員会事業 補助金	人権推進課	75,000	67,500	B	市民への効果が見える事業に重点を置いていただくと良いと思う。
							男女共同参画社会の実現に向け、男女問わずの各種セミナーや他団体との交流など、男女共同参画に資する取組みを行うことは評価できる。国でも推奨している活動でもあるので、市の基盤補助金に移行してはと思う。
							男女共同参画の取組みを主として、市との共催事業を始め、様々な事業に取り組んでおられることと拝察する。しかし、セミナー等への参加費用については、当該取組みに係る参加者の自己研鑽という範囲と考えられるため、できれば受益者負担でお願いしたい。元気のみなもと補助金は、原則3年間の終期設定がされており、この考え方は、団体が実施する、或いは実施したいと考える事業費の立ち上げに係る経費を対象に支援する考えであることから、趣旨をご理解のうえ申請いただきたい。
							男女共同参画推進の取組みとして、大変評価できる。また、関係団体との連携による様々な事業実施により、市民意識の醸成に十分につながっている。補助金交付開始から年数が経過している。貴団体は、地域づくりに大いに貢献されており、講師謝礼等を見直すことにより自主運営を目指していただきたい。
							補助金の充当先は、事業費と研修費だが、事業の内容はセミナーと講演会である。一般参加も可とし、広く女性の人権向上に寄与するセミナーや講演会ならこのまま継続。会員限定の参加である場合は、来年度から市民の一般参加を可とするよう事業内容の見直し、それが困難であれば、補助金額の大幅な見直しが必要と考える。
							男女共同参画推進の取組みとして評価できる。団体との連携による事業実施により市民意識の熟度が高くなっている。男女共同参画社会実現に向けた啓発活動に伴うセミナーや講演会が主な事業内容であるなら、基盤補助金への検討も必要ではないかと考える。
							会費も徴収し、各年度の活動内容も変化をつけつつ実施されている。当面は継続しつつ、各協力機関等と連携を図り、共同参画の市民意識への向上に努められたい。しかし、今後は、基盤補助金への移行も検討すべきと考える。
							行政と連携し、男女共同参画に寄与している団体であり、活動内容も評価できる。将来的には補助金に頼らない自主運営の検討をお願いしたい。
社会貢献活動をする団体として認知度も高く、補助金の支出は適当と考える。							
2	常総地区 保護司会	常総地区 保護司会 補助金	社会福祉課	91,000	82,000	A	大変有意義な活動であると思う。
							犯罪が増えている世の中で、保護司として行う役割は、社会的にも非常に重要な活動であり、今後も継続すべき事業である。
							今年度の補助申請に際し、事業並びに申請額の見直しをいただき感謝申し上げます。しかし、貴団体の数ある事業のうち、どの部分に補助金を活用するのかの積算根拠等を申請書に明示していただかなければ、正確な審査ができない。保護司の活動は、地域の犯罪防止と犯罪の抑制という面で非常に重要な役割を担っており、また、会員もご苦勞の絶えない中で活動をされていることは充分承知している。引き続き、青少年の健全育成と犯罪防止活動にご尽力いただきたい。
							関係機関と連携をしながら、更生援助、保護活動のほか青少年の非行を未然に防止するという取組みに感謝申し上げます。そんな中、自主運営を目指し、年々補助申請額を減らしていただいております。事業にかかる経費面等の見直しをしながら将来的には自主運営を目指していただきたい。
							今後も継続すべき事業と考える。
							地域の保護観察対象者等の更生援助、保護活動、環境調整活動のほか、小中学生を対象とした薬物乱用防止教室開催など、様々な活動を行っていることは高く評価できる。また、保護司としての役割は社会的にも重要な事業であり、今後も継続すべきである。
							更生保護活動に留まらず、市主催の社会を明るくする啓発運動等への協力や地域福祉活動までも実施している。平成30年度10月から石下総合福祉センター内にサポートセンターを設置のうえ、活動も更に強化された現状である。地域における犯罪防止活動は公益性、必要性が高く継続すべき事業であり、繰越金の必要性の根拠も明確である。補助金ではなく委託料として支出することを検討できないか。
							更生援助、保護活動のほか青少年の非行を未然に防止するという取組みは高く評価できる。今後も継続すべきであると思う。
厚生保護や青少年の非行防止等をボランティアで行っており、今後も継続が必要な公益性の高い事業である。補助金の支出は適当であると考えます。							

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
3	常総市 更生保護女性会	常総市 更生保護女性会 補助金	社会福祉課	250,000	169,000	B	会報誌の発行の見直しをしていただいている。引き続き自主運営に努力していただきたい。
							青少年犯罪が増えている中で、健全な青少年の育成や、過ちに陥った人達の更生を支援することは非常に社会的にも重要であり、今後も継続すべきであるが、補助金の増額ではなく、活動経費の削減を検討していただきたい。
							補助金申請にあたっては、正確な審査のため、貴団体が実施する数ある事業のうちどの部分に補助金を活用するのか、またその申請額の根拠について明示していただきたい。毎年、貴団体の活動に関する活動報告誌の作成経費に補助金を活用したいと申請されているが、最近では、県で新設された団体を対象とした事業立ち上げ補助金においても、団体の活動報告に係る会報誌等については補助金の対象外となっている傾向があるので、今後、申請をされる場合には参考にしていただきたい。
							青少年の健全育成並びに犯罪のない地域づくりに、ご尽力されていることに感謝申し上げます。主な活動事業が広報誌作成と見受けられるが、啓蒙活動として広報誌は可能な限り年1回とし、できるだけ事業費に活用いただきたい。補助金交付開始から年数が経過している。貴団体は、地域のために大いに貢献されており、長年の取組みが浸透してきているため、将来的には自主運営を目指していただきたい。
							現状のまま継続。保護司会との連携により、犯罪者化を事前に防止する観点から、なくてはならない活動と考える。
							青少年の健全育成、犯罪や非行のない明るい社会づくりにご尽力されていることに感謝申し上げます。保護司会との連携を図り、社会を明るくする運動等も実施している。補助金の主な支出が広報誌作成となっているが、できるだけ事業費への活用を検討して欲しい。
							保護司会と連携を図り、市主催の社会を明るくする啓発運動等にも協力しており、青少年の健全育成、軽犯罪等の防止活動及び地域福祉活動に貢献されている。公益性、必要性高く継続と思われる。
							保護司会と連携を図り、厚生保護活動を広めるなどの支援活動は高く評価できる。前年度同額補助が妥当と考える。
							厚生保護活動を広め、青少年を対象とした支援活動は重要であると考えているが、昨年と同額補助が適当である。
4	常総市 戦没者遺族会	常総市 戦没者遺族会 補助金	社会福祉課	200,000	144,000	B	決算書を見ると事業費はもう少し低額と考えられるので、昨年と同額の補助が適当と考える。
							今日の日本の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲を後世に伝えることを目的として活動しており、国でも支援している中で、市も同様に補助すべき事業である。
							遺族会所有の慰霊碑や忠魂碑の維持管理に関しては、全国的にも地域の課題となっているところが少なくない。慰霊碑等は、英霊を顕彰するとともに戦争体験を後世に伝え恒久的な平和への願いを伝承していく象徴であることから、地域と行政とで役割分担を行い、手を携えて維持していきたい。
							戦争の悲惨さを後世に伝え、恒久的な平和への願いを伝承していくことは大変大切な取組みと考える。会員も減少傾向にある中、会の運営にご苦労だと思うが、市民ニーズが非常に高く、継続的に活動していただきたい。
							戦争の風化防止と日本国のために尽くした地元の英霊を供養するという点から、補助金という形により地元の皆でかかわるべきと考える。
							全国的な活動団体であり、戦争を後世に伝えることは大切な取組みであると考えている。また、活動内容も公益性が高く、市としての補助は必要である。
							全国的な活動団体であり、戦争の悲惨さと世界平和の願いを後世へ伝承する事を大きな目的とした活動を継続している。しかし、慰霊碑の維持管理など、高齢化による会員の減少により、課題が増えてくることが予想される。公益性や適時性が高く、今後も継続を要する団体と言える。
							戦争体験者が少なくなる中、戦争の悲惨さを後世に伝えなければならないことから、公益性も高く、市として補助は必要である。
						公益性の高い遺族会活動への補助金の支出は必要であるが、昨年と同額補助が適当である。	

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
5	石下 ぼらんていあの会	石下 ぼらんていあの会 補助金	社会福祉課	40,000	36,000	A	有意義な活動であると思う。
							社会貢献活動に寄与されており、ボランティアとしての活動内容は非常に評価できるものであり、今後も継続して補助すべきである。
							事業実施に伴った自主財源の確保にも努力し、健全運営をされているように思う。あとは、補助金に頼らない自主運営が一日も早く実現できるよう頑張っていたきたい。
							貴団体は、自主的な様々なボランティア活動を継続により地域のために大いに貢献されており、感謝申し上げます。引き続きの活動をお願いしたい。そして将来的には、バス借上料等を見直しいただき、自主運営を目指していただきたい。
							市V連協活動助成金と二重補助になっているようであれば、次年度以降は見直しが必要であると考えます。
							ボランティアとしての活動内容、障がい者支援や地域の福祉向上に努めるなど評価できる。また公益性、有効性、必要性も感じる。イベント等での小物販売など、財源確保の努力もされている。今後も継続してお願いしたい。
							市民を対象に、幅広いボランティア活動を実施している様子がうかがえる。地域福祉活動を継続する中、団体名称も広く浸透しつつあり、将来性を感じる活動を継続している。特に、障がい福祉の向上に努められているものと思う。公益性、有効性、必要性も高いと感じる。
							ボランティアとしての活動内容は十分に評価でき、財源の確保にも努力され、小物品販売など自助努力がみられる。活動内容から見ても補助金の支出は必要であると考えます。
6	常総市 母子寡婦福祉会	常総市 母子寡婦福祉会 補助金	こども課	100,000	94,000	A	母子家庭、父子家庭における親子の絆を創るために有意義であると考えます。
							ひとり親家庭を支援する活動は評価出来るし、親子の交流の場を持つことは、子育てで悩んでいる世帯の解決にもつながる活動の機会でもある。今後も継続して補助すべきであると考えます。
							事業内容を見直し、補助金の申請額についても再検討いただいた。本事業は、地域で子どもを育てるといった観点から、ひとり親の子どもにも、なかなか時間の作れない親と触れ合う機会を創出するという大切な取組みと考えている。新型コロナウイルス感染症の影響もあって、思うような事業が実施できないような状況にあると考えますが、引き続きひとり親家庭の子どもへの支援をお願いしたい。なお、申請書については、補助金を充当する事業費の内容（積算根拠）を具体的に明示していただきたい。
							ひとり親の家庭ではどうしても親が多忙となり、親子の触れ合う機会が少なくなってしまう。そんな中、貴団体の活動として、親子の交流の場づくりのため毎年行き先や内容を変更し、体験を積み重ねている。この取組みについては、地域で子どもを育て守るといった観点から、将来的に自主運営できるように支援をしていく必要がある。
							「経済的にゆとりが無く、親が多忙で親子のふれあいの機会がない」という状況が、現代においてもひとり親家族だけのものなのかは疑問である。核家族化、少子化が進む現代においては、一般家庭においても近い状況ともいえる。ただし、同様の環境にある方向士の情報交換の場となり得る点も考慮すれば、事業は継続とし、自己負担を増額することを検討していただきたい。
							ひとり親家庭等を支援する事業は、将来を担う子ども達の成長を助けるため、必要性の高い団体と評価する。保護者が多忙でゆとりがないため、親子のふれあう機会を設ける目的は適時性、有効性も高い。今年度は事業の参加費も計上されていることから、補助対象として適切であると考えます。
							母子家庭等は、親子でふれあう機会を持つことは重要なことであり、子どもの日常生活や成長には欠かせないことは言うまでもない。同じ境遇の世帯とのふれあいの場ともなっており、適時性、有効性も高いと感じる。市として取組むべき事業であるとも考えられる。
							ひとり親家庭等の子ども達には将来の成長を見据え、必要性の高い団体と評価するが、各イベント参加者には最低限の自己負担は必要と考える。
活動内容については十分に評価できるが、イベント参加者の自己負担は一部必要ではないかと考える。							

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
7	市民の森十一面山 保全の会	市民の森 十一面山 保全の会 補助金	生活環境課	300,000	240,000	B	市民へのメリットが分かりやすい事業への補助金の充当をお願いしたい。
							市内の貴重な自然環境を整備保全することは重要である。さらに鬼怒川の堤防整備により開通したサイクリングロードの観光スポットとして位置づけされている箇所でもあり、基盤補助金へ移行を検討していただきたい。
							大幅に補助金の申請額を見直していただいたが、総事業費の89%が補助金となっている。自主財源の確保に努めていただきたい。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思いどおりの事業が実施できない状況にあると考えるが、本件平地林は鬼怒川緊急プロジェクトにより整備されたサイクリングロードに隣接しており、これから市で取り組むサイリング事業の拠点にもなる地区と考えられるため、引き続き、当該平地林の環境、美化活動に取り組んでいただきたい。
							自然環境を保護する活動として、素晴らしい取組みと考える。しかし、当該事業は毎年事業費の半分以上が補助金に依存している現状である。貴団体は地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているため、市民協働の観点から、自主運営を目指していただきたい。
							市内に残されて貴重な自然環境を整備保全するとともに、市民や子ども達に自然体験の場を提供する事業の目的は評価できる。また鬼怒川堤防が整備されたことに伴い、サイクリングロードと一体として環境美化活動に取り組むことで、より良い事業としていただきたい。
							自然環境の保全活動は大切なことであり、今後も継続性のあるものと考え、事業内容の精査や基盤補助に向けた調整の必要があると思われる。
							ボランティアとして、環境保全に取り組む活動は評価できる。ただ、自然環境を守る観点から民地へ補助金を投入しているが、地権者が自己負担で財産の管理をすべきと考える。地権者の年会費の検討も考える必要がある。
貴重な自然環境を守り、維持していく活動は重要であると思う。補助金の減額申請に取り組んでおり評価できる。補助金支出は適当であると考え。							
8	常総市 地域女性団体 連絡会	女性団体 補助金	生涯学習課	180,000	130,000	B	補助金の充当先を明確にいただきたい。
							女性の自立と社会参加を図り、住みよい地域づくりを目指すための様々な地域活動に取り組んでいることは評価できる。しかし、コロナ禍の中で今後同じ活動ができるか不透明なところもあり、活動内容の縮小も視野に入れて補助金の削減を検討していただきたい。
							市との共催事業を始め、様々な事業に取り組んでおられることと拝察するが、元気のみなもと補助金は、原則的に団体の自主事業を支援する補助金である。正確な審査のため、補助金を充当する事業と、そのうちどのような物に補助金を活用したいのか、またその積算根拠を具体的に示していただきたい。貴団体の取組みが地域づくりに貢献されていることは十分に承知しているが、そろそろ補助金に頼らない自主運営をお願いしたい。
							女性の自立と社会参画を図ることを目的に、様々な地域活動や事業に取組み、地域づくりに貢献されていることに感謝申し上げます。しかし、収益事業等や団体等からの会費の徴収を行っているようだが、個人会費120円というのは非常に安価と思われる。引き続き団体運営について、個人会費の見直しや事業を精査していただき、団体の自立に向けて検討していただきたい。
							毎年度「自立すべき」という意見が続いている。それが実現されなければ、補助額を段階的に減額していく方策をとるほかないと考え。
							子育て中の母親支援、研修会等参加者のための預かり保育を始め、各地公民館まつりへの協力や参加、その他市イベント等へ積極的に参加し、活動内容も幅広く、地域づくりに貢献されている。今後の成果も期待できる。会員の年会費については、昨年から見直しはされているものの、再検討が必要であると思われる。
							行政との連携のみならず、ボランティア活動等もあわせて実施し、地域社会の向上に努めることが目的と思われ、事業継続が望ましい。しかし、団体自らが計画した事業の検討も必要であると感じられる。必要性は感じるが、自主運営も視野に入れ、広く市民を対象とした活動も検討願いたい。
社会貢献活動をする団体として認知度が高く、補助金の支出は必要であるが、新型コロナウイルス感染症防止等でイベントへの参加の先行きが見えないことを考えると、更なる補助金の減額も検討していただきたい。							
行政と連携し、男女共同参画に寄与している団体であり、活動内容も評価できるが、昨年と同額補助が適当である。							

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
9	常総市 小中学校 PTA連絡協議会	常総市 小中学校 PTA連絡協議会 補助金	生涯学習課	315,000	252,000	B	他の自治体のPTAの運営方法を参考に、自主運営を目指していただきたい。
							少子化が進む中で、児童数の減少により財源の確保が厳しくなっている現状ではあるが、事業内容が研修会や会議費等であり、市P連に関する事業の見直しが必要ではないか。
							補助事業費について見直しいただき、感謝申し上げます。PTA連絡協議会は、小中学校の児童生徒の健全育成と運営に必要であることは十分承知しているが、この元気のみなもと補助金の支援目的は、原則的に団体等の新規事業の応援支援金という考え方である。学校運営に際し継続的に必要と考えられる費用であるのならば、学校側と協議し、当該補助金ではない他の財源確保策を検討してはいかかか。
							申請額を大幅に見直しいただいたが、この補助金は事業を軌道に乗せるための事業費補助金である。団体等の運営に係る負担金は補助金の対象外となることから、引き続き申請内容の精査をお願いしたい。
							協議会の趣旨から、今後も継続的な活動が必須の事業であると考え。ただし、市内小中学校と密接に関係した事業であることから、他市町村の事例調査などにより市の事業としての支出の仕方も研究し、公募補助金に限らずより好ましい形で支出に整えていく必要があると考える。
							青少年の健全な育成を図るために各PTAの連携は必要であり、公益性、公平性は高く評価できる。しかし、事業内容の検討が必要ではないか。また、学校間の連携ということであれば、1校当たりの分担金の検討もすべきではないか。
							各学校PTAの連携は必要であり、公益性、適時性は高いと感じる。しかし、事業内容の検討や保護者への活動の周知拡大もお願いしたい。P連が自ら計画した内容で、学校と連携した事業も実施できればと考える。また、学校教育課が主管課とはならないのか。さらには、他市町村における補助金の在り方もリサーチしておくべきではないか。
							補助申請額の削減に踏み込んだ点は評価すべきであるが、毎年度同額の補助金で繰越金も出ていることから、更なる支出抑制の工夫を検討していただきたい。
青少年の健全育成を図るため各学校PTAの連携は必要であり、活用内容も評価できる。補助金の支出は適当である。							
10	水海道神楽保存会 楽々会	水海道神楽保存会 楽々会 補助金	生涯学習課	35,000	32,000	A	有意義な活動であると思う。
							市の指定無形民俗文化財であり、伝統芸能を後世に伝えることは市の重要な役目でもある。今後も継続して補助すべきである。
							市の指定無形民俗文化財ということで、伝統芸能の伝承に尽力されているなか、後継者等の課題などご苦労されていることを拝察する。引き続き「水海道神楽」の伝承にご尽力いただきたい。
							様々な行事等を通して、市の指定文化財となっている伝統芸能を後世に継承していくという大役を担っていただき、感謝申し上げます。団体の高齢化等、問題点も多くなると思うが、引き続き「水海道神楽」の伝承にご尽力いただきたい。
							市の貴重な文化財を維持し、後世に伝えていくのは重要なことである。また、市指定の無形民俗文化財ということで公益性が高い。引き続き後継者育成に努め、正会員の増加につなげていただきたい。
							伝統芸能の継承を目的とした、公益性・有効性・必要性が高い継続すべき事業である。必要最小限の経費だと思われるが、後継者の育成も含めた、補助額の見直しを検討されても良いのではないか。
							市の伝統芸能を後世に伝えていくことにご苦労されていることがうかがえる。団体の高齢化等の問題点も多くなると思うが、引き続き「水海道神楽」の伝承にご尽力いただきたい。
							伝統芸能を後世に伝えることは、行政の使命と考える。今後も会員の増加に努力していただきたい。補助金の支出は適当である。

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
11	常総市文化協会	常総市文化協会補助金	生涯学習課	375,000	170,000	C	文化協会報を紙ベースではなく、データで配布することも検討していただきたい。
							R2事業費465,000円に対し補助額375,000円（約8割）の補助では、今後自主運営していくのは厳しく思う。事業内容が会報の制作と研修費となっており、事業内容の検討が必要かと思うが、市の文化事業と関連があるのであれば、基盤補助金へ移行を検討していただきたい。
							新型コロナウイルス感染症の影響もあって、思うような団体活動が行えていないのではと思う。補助金の交付申請について、主に会報誌作成費と研修費に充当することだが、昨年茨城県で新設された団体対象の活動支援補助金では、会報誌作成経費は補助対象経費外として扱われており、当該経費は団体の自主財源での作成を促している。元気のみなもと補助金は、団体の事業立ち上げの応援資金という補助金であるため、毎年度実施する会報誌の発行並びに研修費の経費について自主財源の確保を検討いただくとともに、団体の自主運営の検討もお願いしたい。
							貴団体は、地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているので、会報のページ数を減らすなどして自主運営を目指していただきたい。
							本市のアカデミーの中心であり、継続が必要。ただし、補助金の充当先が視察研修と会報印刷のみである点に違和感がある。活動の成果のアウトプットを会報誌発行だけで行うのではなく、豊富な知識と研究の成果を市民向けの教養講座などを開催して授業するなどの活動をしていただきたい。
							市内文化団体との連携と親睦を図り、市民文化の育成と文化的生活の向上に貢献することは大切である。しかし、補助金交付申請の大部分は会報誌の発行である。発行の経費については、協賛金を募る等の対策を考え、自主財源の確保を検討していただきたい。
							会報と研修のみの補助金充当はいかがなものかと感じる。事業内容の検討や自主運営に向けた努力も必要ではないかと考える。
							コロナ禍での研修視察が可能なのかは不透明ではないか。また、会報に補助金の80%の充当はいかがなものか。事業内容の更なる検討も必要と思われる。
団体への補助金の支出は理解できるが、昨年と同額補助が適当であると考え。							
12	鈴木頂行顕彰会	鈴木頂行顕彰会補助金	生涯学習課	140,000	101,000	B	補助金への依存度が高いようなので、自主財源での事業計画を立てていただくようお願いしたい。
							市の隠れた偉人の偉業を掘り起こして広く市民に伝えることは、今後の未来志向のまちづくりにつながる重要な活動であり、今後も継続して補助すべき事業であると考え。
							昨年度からの本補助金を活用いただくこととなったが、事業の実施状況はいかがか。総事業費の77%が補助金の活用ということだが、もう少し自主財源の確保はできないか。新型コロナウイルス感染症の影響もあって、思うように事業が実施できないという他団体からの声もあるが、引き続き、事業の推進と会員の確保を頑張ってください。
							元気のみなもと補助金は、事業が軌道に乗るまでの立ち上げ支援として、原則3年間の終期設定を基本としている。ついては、活動費をすべて補助金に頼るのではなく、補助金の充当先をもう少しご検討いただきたい。
							まだ2年目の団体とのことなので、活動団体育成の意味から、このまま継続すべきと考える。
							郷土先人の偉業を伝承していくことは、公益性、公平性、必要性も高く、大切な事業であると考えられる。今後も広く市民に発信していくとともに、小中学校と連携し、子ども達の教育に役立てていただきたい。
							当市の歴史を知り継承する活動は、公益性・公平性・必要性も高く、大切な事業のひとつと感じる。実施にあたり小中学校とも連携し、当市の歴史の勉強にも役立ててもらえればと考える。
							常総市の歴史を研究し、広く市民に発信していただきたい。今後は小中学校とも連携し、歴史の勉強にも役立ててもらえればと考える。ただ、活動費に対する会の負担額についてはご検討いただきたい。
郷土の発展に寄与した人物の研究や普及を図ることは重要な行政の使命と思うが、他の文化的補助金とのバランスを考えると、昨年と同額補助が適当であると考え。							

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
13	常総市 少年の主張大会 実行委員会	常総市 少年の主張大会事業 補助金	生涯学習課	938,950	338,000	B	公益性が高く、補助率が高い事業であれば、市の事業とすることが適当ではないかと考える。
							地元の中学生に対する健全育成の事業として評価できるが、補助金の支出内容がバス借上料が主になっており、補助金ではなく担当課で予算化することも検討していただきたい。
							本件事業は青少年の健全育成等に寄与する素晴らしい事業であることは十分理解しているが、令和3年度の補助申請額が昨年度に比べて30万円程度増額となっているうえに、総事業費の約97%を本補助金で賄うという申請は、市が団体等の事業を支援するという考え方の範囲を超えているものと考え。元気のみなもと補助金は、市内の様々な団体の事業の立ち上げを支援するという趣旨に基づいて交付している補助金であるため、今一度、当該事業の開催方法について再考いただきたい。
							少年の主張大会を毎年実施されていることは、とても大変なことと思う。しかし、申請額が大幅な増額となり、事業費の9割が補助金に頼る内容となっている。事業内容からすると、市で行う事業かとも思われるため、担当課と十分に協議のうえ、事業内容の精査をお願いしたい。
							生徒育成の点で、今後も継続していただきたい。ただし、市立学校の授業の一環にもとれる事業であるため、公募補助金という形が好ましい形なのか若干疑問である。他市の調査などを研究し、より好ましい支出の方法を検討する必要があると考える。
							中学生を対象とした少年の主張大会事業は、素晴らしい事業であると考え。事業の目的や事業内容も有効性・必要性が高く評価できる。しかし、対象者が市内の中学生と限られているのであれば、基盤事業への移行を検討すべきと考える。
							青少年の健全育成を通じて、様々な思い、悩み、社会問題に向き合い成長につなげる事には意味があり、有効性・必要性も高く継続性のある事業であると考え、基盤補助金に移行することも検討していただきたい。
							青少年の健全育成推進活動の事業として素晴らしい取り組みであると考え。しかし、活動費がほぼ補助金であり、市で行う事業内容かとも思われるため、担当課と十分に協議のうえ、事業内容の精査をお願いしたい。
中学校において例年継続している事業であり、認知度も高いと感じる。平成26年から貸し切りバスの基準が変わり、バス代の増加が主な補助金増額の理由と考えられることから、その他の経費削減に努めることを条件に、前年補助金からの増額を認めたいと考える。							
14	常総市 ミニバスケットボール 連盟	常総市 ミニバスケット ボール大会 (5月・3月) 補助金	スポーツ振興課	50,000	27,000	B	引き続き、自主運営に向けた努力を継続していただきたい。
							スポーツを通じた市内外のチームとの親睦と交流の中での青少年の心身の健全な育成は必要と考える。しかし、大会の参加費が市外のチームのみなので、補助金を活用するからには、市内のチームも負担すべきと思う。
							当該補助金の趣旨をご理解いただき、今年度は大会開催にかかる必要経費に補助金を充当する申請内容に見直していただいた。できれば市内の参加者からも参加料を徴収すべきと考える。引き続き、青少年の健全育成にご尽力いただきたい。
							団体が自主的に主催していることについては、素晴らしい取り組みと思われる。また、充当先についても見直していただいている。
							子ども対象の事業であること、負担金も徴収していることから、今後も継続すべきと考える。
							スポーツを通じ、他チームとの交流を図り、健全な心と身体の育成に貢献する取り組みは素晴らしく、評価できる。子ども達が減少している中、チームの存続も厳しくなってくるが、今後も継続をお願いしたい。
							スポーツを通じたふれあいは、現在社会において減少傾向にあることから、子ども達の健全育成に大きく貢献していると思われる。しかし、参加費負担が市外チームからのみであることに疑問を感じる。
							スポーツを通じて青少年の健全育成に大きく貢献していると思われる。また、補助金の充当先の見直し等も評価できる。市として多少の負担は必要であるが、将来的には補助金に頼らない自主運営をしていただきたい。
ミニバスケットを通して青少年の健全育成に寄与していると思われる。補助金の支出は理解できるが、昨年と同額補助が適当である。少額補助金であり、自主運営に向けて努力して欲しい。							

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
15	常総市 学童野球連盟	学童野球大会事業 補助金	スポーツ振興課	42,000	38,000	A	引き続き自主運営に向けた努力を継続していただきたい。
							学童野球を通じて、健全な青少年の育成や県内外チームと交流を図り、親睦及び市のPRをすることは素晴らしいと思う。今後も継続して開催することで、市のPRにもつなげていただきたい。
							当該補助金の趣旨をご理解いただき、今年度は大会開催にかかる必要経費に補助金を充当する申請内容に見直していただいた。参加チームからの参加料を徴収するなど、自主運営に努力されていると考える。引き続き、青少年の健全育成にご尽力いただきたい。
							青少年の健全育成を図る素晴らしいと思う。連盟として、経費の節約等に年々取り組まれており、補助額が減ってきている。大会としてもかなり定着しており、参加チームも年々増えてきていることから、将来的に参加費等で大会運営できるよう努力していただきたい。
							子ども対象の事業であること、負担金も徴収していることから、今後も継続すべきと考える。
							青少年の健全育成を図る取組みは素晴らしい事業である。少年団としての活動も評価できる。子ども達が減少している中、チームの存続も厳しくなっているが、今後も継続をお願いしたい。
							スポーツを通じたふれあいは現在社会において減少傾向にあることから、子ども達の健全育成に大きく貢献していると思われる。補助内容も必要最小限のものとする。
							スポーツを通じ、子ども達の健全育成に大きく貢献していると思われる。他市町村のチームを招待することで、少子化の中で子どもたちの親睦を深めていることは評価できる。市として多少の負担は必要であるが、将来的には補助金に頼らない自主運営をしていただきたい。
野球を通して青少年の健全育成に寄与しており、補助金の支出は適当である。少額補助金であり、今後は自主運営に向けて努力して欲しい。							
16	常総地区 剣道連盟	第17回 常総市近隣市町村 剣道大会 補助金	スポーツ振興課	100,000	68,000	B	事業費における補助金の割合が低く、また、大会を15回実施した実績もあるため、自主運営が可能ではないかと考える。
							剣道を通じて、健全な青少年の育成を図ることは評価できる。この大会の中で市のPRなどにも取り組んでいただきたい。
							当該補助金の趣旨をご理解いただき、今年度は大会開催にかかる必要経費に補助金を充当する申請内容に見直していただいた。参加チームから参加料を徴収するなど、自主運営に向け努力されていると考える。引き続き青少年の健全育成にご尽力いただきたい。
							青少年の健全育成を図るために大会を運営した貴連盟の取組みは素晴らしいと思う。大会としてもかなり定着しており、参加者も年々増えてきている。大会参加費からすると、将来的に参加費等で大会運営できることを期待する。
							子ども対象の事業であること、負担金も徴収していることから、今後も継続すべきと考える。
							青少年の健全育成を図るための取組みは素晴らしく、活動自体も他の少年団の事業と同様評価できる。また、市外からの参加者を招くことで、市のPRにもなっていると考えられる。子ども達が減少している中で、チームの存続も厳しくなっているが、今後も継続をお願いしたい。
							スポーツを通じたふれあいは現在社会において減少傾向にあることから、子ども達の健全育成に大きく貢献していると思われる。補助内容も必要最小限のものとする。
							活動自体は他の少年団と同様に評価できる。市として多少の負担は必要と思うが、将来的には補助金に頼らない自主運営をしていただきたい。
剣道を通して青少年の健全育成に寄与していると思える。補助金の支出は理解できるが、昨年と同額補助が適当である。今後は自主運営に向けて努力して欲しい。							



令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
17	常総市 バドミントン連盟	常総市 バドミントン 大会開催 補助金	スポーツ振興課	60,000	27,000	C	大会参加費を検討し自主財源で開催することは可能と思う。自主運営に向けた努力をお願いしたい。
							バドミントンを通じて健康増進や年代間のコミュニケーションを図ることは評価できるが、事業内容から判断して、参加費の増額を検討し、補助金を頼らない自主運営を検討いただきたい。
							青少年も参加する誰でも参加可能なオープン大会とのことだが、市内の他の青少年育成を目的とした事業とは少々趣旨が異なる内容と考える。自主運営をお願いしたい。
							県西、県南地区からの年齢に制限のないオープン大会であり、市内の競技者人口が少ないことから、青少年の健全育成につながるのか疑問がある。このような大会については、会費や参加料等にて自主運営をご検討いただきたい。
							大人も参加する事業であり、大人の比率の方が高いように見える。子どもは参加無料とし、その分大人からは参加費を多く求めるようにして、補助金額を圧縮すべきと考える。
							健康増進と地域の活性化という面に関しては評価できる。しかし、オープン大会で年齢の制限がないことから、公益性・公平性が薄いと思われる。今後は参加費の見直しを検討していただき、自主運営に向け努力して欲しい。
							大人から子どもまで、ひとつのスポーツを通じてふれあうことは公益性・必要性が高いと思う。しかし、1大会100名未満の参加者という実績であり、事業内容や補助金充当の妥当性は欠けると感じる。
							子どもから中高年まで、年齢制限なく幅広い世代で楽しめるスポーツで、健康増進を図る活動は大いに評価できる。将来的には補助金に頼らない自主運営をしていただきたい。
成人が中心のバドミントン大会であり、少額補助金であることから自主運営に向けて努力して欲しい。昨年と同額補助が適当であると考え。							
18	常総市 シルバークラブ 連絡協議会 健康推進委員会	常総市 シルバークラブ 連絡協議会 健康推進委員会 スポーツ大会 補助金	スポーツ振興課	50,000	0	D	会費の検討をすれば自主運営が可能と思う。引き続き努力をお願いする。また、団体繰越金を補助金相当額の事業費に充てることも検討して欲しい。
							高齢化社会の中で、高齢者がスポーツを通じ、健康増進、仲間との出会いや交流を図ることは素晴らしい取組みだと思う。しかし、体育協会からの補助金や昨年度の繰越金などを考慮すると、補助金に頼らない自主運営を検討していただきたい。
							毎年の団体繰越金が10万円以上あるようなので、本補助金に頼らない自主運営も可能ではないかと考える。当該事業に対しては、市の体育協会補助金と幸せ長寿課からの助成金収入があるが、これらは全て市の補助金であるため、さらに元気のみなもと補助金となると、市からの3つの補助金が重複することになってしまう。元気のみなもと補助金は、団体の事業が軌道に乗るまでの事業の立ち上げ支援補助金であるため、自主運営の検討をお願いしたい。
							高齢者の健康増進を目的に、市民が様々なスポーツを行うことは素晴らしい取組みと思う。事業に対して体育協会からも活動費、補助費があり、繰越金も多いことから、会費等をもう少し増やせば自主運営は可能と考える。貴団体は地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているため、新規団体のためにも自主運営を目指していただきたい。
							高齢者の集いの機会ではあるが、大人対象の事業である。シルバークラブ連絡協議会からも助成を受けていることから、公募補助金の支出は圧縮すべきと考える。例えば、会費を100円アップすると、公募補助金分は賄えるように思う。
							高齢者の健康増進を目的に仲間同士でスポーツを行うことは、とても素晴らしい取組みと評価できる。事業に対しては体協からも運営補助があることから、会費の検討をしていただき、自主運営に向け努力して欲しい。
							当市の高齢化率も30%を超え、高齢者の交流や健康増進、介護予防、そして地域活動としての大きな役割を担っている活動と感じる。しかし、収入で見込んでいる本会からの補助金は幸せ長寿課のシルバークラブ連絡協議会助成金であり、見直しを要すると考える。
							高齢者の健康増進、地域活動としてのふれあい等、必要性が高いと思われ、継続すべき団体と考える。市として多少の負担は必要であるが、将来的には補助金に頼らない自主運営をしていただきたい。
高齢者の健康増進に寄与する事業ではあるが、少額補助金であり、自主運営に向けて努力して欲しい。昨年と同額補助が適当であると考え。							

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
19	常総市 サッカー協会	常総市 サッカー協会 少年サッカー大会 及び 指導者講習会 補助金	スポーツ振興課	200,000	76,000	C	昨年実績を見ると「賞品 参加賞」に係る経費は検討の余地があると思われる。自主運営に向けて努力していただきたい。
							サッカーを通じた健全なる青少年の心身の育成と生涯スポーツの基礎づくりの取組みは評価できる。常総市長杯の補助金は負担すべきと思うが、交流大会などは参加チームの増や参加費の増額などで大会運営できるように検討していただきたい。
							昨年度と比較して、補助申請額が3万2千円増額になっている。補助対象経費の中に、指導者講習会のボール代と思われる費用が計上されているが、これは受益者負担の部分である考える。また、屋外での作業時等の飲み物代であれば補助金を活用することは理解できるが、大会参加者の飲み物まで税金を充当すべきものは少々疑問がある。青少年の健全育成に寄与する事業であるとは理解しているが、補助金の充当先については必要最小限としていただきたい。
							貴協会の青少年の健全育成を図る取組みは素晴らしいと考える。今後は事業にかかる経費面等の見直しをしながら、将来的には自主運営を目指していただきたい。
							子ども対象の事業であること、負担金も徴収していることから、今後も継続すべきと考える。
							サッカーやフットサルを通して青少年の健全育成を図る取組みは素晴らしいと評価できる。事業内容についても適時性・有効性・必要性があると感じる。しかし、運営に関しては協賛金を募ったり、参加費の検討が必要であると思われる。
							少年サッカー人口が増加する中、各種大会への参加を通じ青少年の育成に寄与しているとともに、指導者の育成にも力を注いでいる団体と感じる。しかし、事業費の補助金充当を見直すべきであるとする。
							サッカーを通じて青少年の健全育成を図る取組みは評価できる。補助は、昨年と同額補助が適当である。将来的には補助金に頼らない自主運営をしていただきたい。
サッカーを通して青少年の健全育成に寄与していると思える。昨年と同額補助が適当である。今後は自主運営に向けて努力して欲しい。							
20	常総市 グラウンド・ゴルフ 協会	常総市 グラウンド・ゴルフ 協会活動事業 補助金	スポーツ振興課	50,000	20,000	C	団体の繰越金が申請額とほぼ同額なので、補助金がなくても事業を実施できるのではないかと考える。
							高齢化社会の中で、高齢者がスポーツを通じて健康増進や世代間の交流を図ることは評価できるが、補助金の充当先が「交通費（県大会費用）」である点は検討すべきではないか。
							老若男女を対象とした活動で、142名の会員がいるとのことだが、このうち大会参加者は何名ぐらいいるのか。また、何名ぐらいの中学生以下の子どもが大会に参加されているのか。収入のない青少年の育成事業に係る経費については市としても財政事情が厳しくても積極的に支援していきたいと考えるが、大人の参加者が主体の大会ということであれば、自主運営をお願いしたい。他の青少年育成事業とは若干目的が異なるように感じる。
							貴協会の健康増進を図る取組みは素晴らしいと考える。貴協会は地域のために大いに貢献されているが、補助金交付開始から年数が経過しているため、新規団体のためにも自主運営を目指していただきたい。
							競技の趣旨としては、子どもから高齢者まで参加できるものであるが、現実的には大人向けの事業と見える。年会費をあと数百円アップすることで自主運営に移行することができると思えるので、努力をお願いしたい。
							グラウンドゴルフは高齢者でも気軽に楽しめるスポーツとして人気があり、健康増進を図る取組みは素晴らしいと評価できる。公益性・公平性・必要性は感じるが、年会費の検討をし、自主運営に向け努力して欲しい。
							当市の高齢化率も30%を超え、高齢者の交流や健康増進、介護予防、そして地域活動としての大きな役割を担っている活動と感じる。公益性・公平性・必要性が高く、継続すべき内容と考える。
							高齢者の運動不足解消や健康増進として大いに評価できる。市として多少の補助は必要と思うが、将来的には補助金に頼らない自主運営をしていただきたい。
高齢者の健康増進に寄与する事業であるが、少額補助金でもあり、自主運営に向けて努力して欲しい。昨年と同額補助が適当であるとする。							

令和3年度元気のみなもと育成補助金 審査結果

No.	申請団体名	補助金名	担当課名	申請金額 (円)	交付決定額 (円)	評価結果	評価者コメント
21	絹西柔道クラブ	絹西柔道クラブ 交流錬成大会 補助金	スポーツ振興課	227,250	54,000	C	実績報告に記載した規模での事業を実施すれば、補助金は不要ではないか。自主運営のための努力をお願いしたい。
							柔道を通じて健全な青少年の育成と健康増進や防犯意識の向上を図ることは評価できるが、補助金の申請額が例年同額なので、参加費の増額など補助金の削減につながる取組みをしていただきたい。
							青少年の育成事業については、市としても積極的な支援を行う考えはあるが、申請にあたっては、他の青少年育成事業実施団体の状況も視野に入れて申請いただきたい。元気のみなもと補助金は、団体等の事業の立ち上げ支援という趣旨に基づく補助金である。本大会は今後も実施していこうと考えている事業と思われるため、参加費の増額についても検討をいただくなど、自主運営を視野に入れた事業の実施を検討願いたい。
							貴クラブの青少年の健全育成を継続的に図る取組みは素晴らしいと考える。今後も、賞品代、参加賞費は極力大会参加料等で賄っていただきたい。
							少年の心身面の健全育成につながる事業である。今後も継続すべきと考える。
							柔道を通じて健全な青少年育成を図る取組みは素晴らしい。また活動内容は他の少年団と同様評価できる。しかし、パンフレット作製については協賛を募るなどの努力が必要だと思う。参加費についても検討して欲しい。
							絹西柔道クラブは、単一クラブながら活発な活動を継続し、青少年の健全育成を図り、頑張っている様子がうかがえる。しかし、補助申請額が大きいことから、令和元年度収入実績にあるような広告収入等の努力をお願いしたい。
							柔道を通して青少年の健全育成に寄与していると思える。市として多少の負担は必要と思うが、他の少年団より補助申請額がやや多いように思われる。昨年と同額補助が適当であると考えます。
柔道を通して青少年の健全育成に寄与しており、昨年と同額補助が適当である。今後は自主運営に向けて努力して欲しい。							